

修学旅行に行ってきました ～ 12月3日(金) ～



6年生11名は、建部小学校・竹枝小学校の6年生とともに倉敷方面に修学旅行に行ってきました。昨年よりもちょうど1週間遅れての実施となりました。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、10月に予定されていた京阪神方面への1泊2日の旅行計画は断念せざるを得なくなり、今年度も倉敷方面へ日帰り旅行となりました。

この日は最終目的地の倉敷美観地区で雨に降られはしましたが、それまでは過ごしやすい天候で予定通りの日程を消化することができました。世界的にも有名な「ジーンズの町」の児島では、ジーンズのお店でデニムのストラップ作りを体験したり、ホテルではいつ

もよりちょっと豪華な食事を楽しんだり、鷺羽山ハイランドでは、動物とふれあったり絶叫マシンに乗って雄叫びをあげたりしました。倉敷美観地区では、歴史有る町並みを歩き、買い物や散策を楽しむことができました。

学校に帰ってきた頃にはすっかり暗くなっていましたが、先生方やおうちの方々に温かい出迎えをしてもらいました。いつまでも心に残る、いい思い出のできた修学旅行になったことと思います。

6年 修学旅行 スナップ写真特集



結団式 吉備 SA にて



デニムのストラップ作り



児島はトイレもデニム仕様！



下電ホテルにて 豪華な昼食



ハイランドに到着 この坂がしんどい



タワードロップ！このあと急上昇！



かわいい動物もたくさんいました



美観地区にて「はい！チーズ」



雨に降られてちょっと残念！

運動だんごに取り組んでいます



児童が楽しく主体的に運動・遊びに取り組むことで、行動体力や精神力が向上し、様々な健康問題を解決する手立てとして、「運動だんご」に取り組んでいます。エネルギータイムになると、颯爽とスキップをしながら運動場を駆け抜け、鉄棒や一輪車、竹馬などの運動を始める子どもたちの姿を見ることができます。低学年も高学年も手を抜かず、まじめに運動している姿が微笑ましいです。この取り組みを通じてコ

ロナに負けない元気な心と体を兼ね備えた子どもたちに育って欲しいと思います。



人権週間の取り組みについて



12月4日から10日までは、「第72回人権週間」です。特に10日は「世界人権デー」として位置づけられています。学校でも、その期間中は「人権週間」として、様々なことに取り組みました。12月6日には全校朝会で校長が「人権に関わる話」をしました。今年度は「ジェンダー」に関する話をしました。

「いろいろなものの色について」信号やポストの色は決まっているけど、小学生のランドセルの色は「男子の色」「女子の色」というきまりはないということ。そして、「男性の役割？女性の役割？」では「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」と決めつけている考え方があつ

て、最近では少しずつ変わってきていることなどについて考えてもらいました。

人権週間中は、友だちや周りの人からの「温かい言葉」や、してもらった「親切」に対する感謝の気持ちを「ありがとうゆうびん」として手紙に書いて送ることを奨励しました。この期間中は特に、あたたかい心に学校が包まれました。



山の学校に行ってきました

～ 12月8日（水） ～



2学期も押し迫った12月8日。本来の予定から遅れること半年以上。4年生の5人が待ちに待った「山の学校」の日がとうとうやってきました。新型コロナウイルス感染症の影響はやや収まりつつあるとはいえ、まだまだ予断を許さない状況で、「感染防止」という事を第一に考慮した、日帰り日程での実施となりました。



それでも、入所式の時の山の学校の先生のお話で、「12月の山でしか体験できない楽しみ方」を教えてください、活動意欲がぐんと上がった状態で「ネイチャーワーク」に出発していきました。

福渡小5人と竹枝小の3人で一つのグループになって活動しました。落ち葉でいっぱいの中道をさくさくと踏みしめ、山の学校の先生に教えてもらったドングリを拾いながら、予定通りにコースを歩き、本部に帰ってくると、まだ時間に余裕があったので、別のコースへと2度目の出発をしました。時間が来たので2度目は途中まででしたが、とても充実した活動ができました。竹枝小の4年生3人ともすっかり仲良しになりました。

少年自然の家で過ごした時間は4時間ほどでしたが、「自律」「協同」「友愛」「奉仕」の山の学校の4つの教えがしっかりと学べた一日となりました。

